

平成21年度補助金採択事業一覧表

(単位:円)

地域	自治振興区	事業名	事業概要	補助金交付額
庄	東自治振興区	地域の歴史・文化の編纂事業	昨年度作成した「東地区歴史散策マップ」を補完する「東地区の歴史」を小冊子にまとめ、地域内の文化遺産の継承と郷土愛の醸成を図る。	2,709,000
	東自治振興区	生活環境整備事業(花のみちづくり)	居住地域内の道路にスイセンを植栽し、地域内の景観形成に加え、地域住民の連帯意識の醸成を図る。	100,000
	北自治振興区	加工所整備事業	地域内で生産した大豆を利用し、地産地消の特産品づくりとして味噌づくりを行うため、加工所を整備する。	1,600,000
	山内自治振興区	里山整備の廃材で農業再生事業	里山整備により切り出される竹をパウダー状にする機械(チップパー)を整備し、竹パウダーや竹肥料を作り、減農薬の作物の生産に取り組む。	2,789,000
	庄原自治振興区	宮内の史跡案内看板等設置事業	昨年度作成したマップやそれに記載された文化財の案内看板を制作し、地域のPRを行う。また歴史的価値のある間歩の再現に取り組む。	410,000
	庄原自治振興区	フラワーロード整備事業	地区の道路沿いに季節の花を地域住民で植栽し、景観整備を行い、子どもから高齢者まで世代を超えた交流を図る。	101,000
	高自治振興区	高歴史街道整備事業	「つつじ山」に遊歩道を整備し、自然学習や歴史学習を行うことで、世代を超えてふるさとを思う心の醸成を図る。	901,000
	敷信自治振興区	敷信PR大作戦パートII事業	自治振興区の象徴として、区歌、区章、愛唱歌を制定する。区歌、区章は公募とし、審査し選考する。	370,000
	峰田自治振興区	青嶽山公園整備事業	平成19年度に整備した青嶽山公園への案内看板の設置や花の植栽を行い、より多くの方の憩いの場とする。	522,000
西城	今働会	大屋ふれあいサロン事業	これまで地域で行われてきた「大屋ふれあいサロン」事業の充実を図るため、視聴覚機器等の備品を整備する。	572,000
	久代中自治振興区	ふるさと産品加工所整備事業	地域にある休校の給食施設を加工所として整備し、地元産の野草等を使ったふるさと産品の開発に取り組む。	3,000,000
東	戸宇自治振興区	河内谷環境整備事業	東城インターチェンジから国定公園帝釈峡への経路でホテルの生息地に桜ともみじを植栽し、景観整備を行う。	243,000
	戸宇自治振興区	戸宇特産品生産販売事業	パソコン周辺機器を整備し、地域の加工販売や自治振興区事務の一括管理、処理の合理化を図る。	167,000
	東町自治振興区	保健福祉事業	これまでに独自事業として取り組んできた「100円サロン」で、介護予防(転倒予防)のため毎日続けられる運動を取り込み、交流の場を提供する。	182,000
	東城中町自治振興区	非常時緊急連絡板の作成事業	住民が安全に安心して暮らせる地域づくりのために、非常時緊急連絡板を全戸に設置する。	39,000
	為重自治振興区	为重福寿草の里整備事業	福寿草自生地周辺の歩道橋の設置及び駐車場、イベント会場の整備を行い、交流人口の増大、イベントの定着化を図る。	2,072,000
	帝釈自治振興区	帝釈自治振興区イベント施設整備事業	これまで取り組んできた地域の特産品の販売促進や、地域の活性化のため販促物を整備する。	310,000
	小奴可自治振興区	板井谷のコナラ周辺整備追加事業	昨年度に引き続き、県天然記念物に指定されている「板井谷のコナラ」周辺の公園に訪客用トイレや案内看板等を設置し整備を行う。	1,498,000
	小奴可自治振興区	花いっぱい運動(スクールゾーン)	平成22年春の小学校再配置を記念し、通学路へスイセンを植栽する「花いっぱい運動」に取り組む。	653,000
	口和	大月自治振興協議会	黒岩城整備事業	黒岩城の山頂にあるあずま屋の改修やイベント広場などを整備し、各種イベントを開催して交流人口の拡大、定住促進を図る。
湯木釜峰振興会		釜峰山整備事業	地域の象徴である釜峰山の中腹にある城跡までの遊歩道や周辺を整備し、観光や交流の推進、地域住民のコミュニティ、連帯感の醸成を図る。	2,959,000
常定振興区		常定探訪マップ整備事業	地区内に多く残る遺跡や名所、希少植物などを掲載した地域内マップ看板を作成し、地域の歴史や文化をPRするとともに、郷土を愛する心を醸成する。	546,000
比和	福田元常自治振興区	桜街道整備・紫陽花の里づくり事業	福田頭登山道のルート沿いに植栽された桜並木を整備するとともに、観音滝周辺に紫陽花を植栽し、庄原一の紫陽花の名所を目指す。	409,000
	下門田自治振興区	下門田今昔マップ作成・昭和池周辺整備事業	高速度建設で地域の様相が変化中、地域の歴史を伝える「下門田地域今昔マップ」を作成する。また昭和池周辺の植栽や遊歩道を整備する。	539,000
	和南原自治振興区	R432和南原景観ロード整備事業	国道432号線沿線にスイセンを植栽し、地域住民や通行者の心やすらぐ景観を提供する。	1,201,000
高野	上湯川自治振興区	国道432号線沿線環境保全整備事業	国道432号線沿線の片側に花のプランターを、もう片側にスイセンを花帯となるよう植栽し、地域住民や通行者の心やすらぐ景観を提供する。	637,000
	敷信自治振興区	敷信定住促進事業	地域出身者への定期的な情報発信やふるさと祭りへの呼びかけを行い、定住のきっかけをつくる。	185,000
庄原(定住)	北自治振興区	北自治振興区定住促進事業	地域内の情報を出身者へ定期的に発信し、ふるさとを思い出すことで、定住への促進を図る。	79,000
				<b>27,793,000</b>



庄原自治振興区による街路樹整備

この補助金は、地域の将来像や地域課題の解決に向けた取り組みなどをまとめた「地域振興計画」に基づいて実施する事業に対して交付します。補助額は対象事業の4/5以内で、1事業の上限は300万円。毎年5月末を申請期限とし、審査会を経て採択されます。

解説

自治振興区活動促進補助金

地域課題の解決や地域づくり活動などを支援する「自治振興区活動促進補助金」の平成21年度採択事業が決定しました。本年度は24自治振興区から32事業の申請があり、審査会を経て28事業が採択されました。今回の特徴として、これまで取り組んできた事業を継続し発展させる事業、地域の歴史をカタチにしてPRする事業、特産品開発による収益事業などが多くありました。この5年間で、59自治振興区132事業を採択。着実に地域の夢がカタチになっていきます。



審査会が現地確認



事業内容を確認する審査会

審査会を終えて

これからの地域のあり方を見据え、各地域の象徴となる資源を活用し、地域内の一体感の醸成、地域外との交流拡大、収益事業への展開が図られています。地域の魅力を最大限に生かし、次世代に継承していける地域活動を期待しています。

次世代へつなぐ活動を期待

自治振興課 木村豊彦 課長



魅力ある事業が多数申請

審査会 野原建一 会長

今年は例年以上に力作の申請書が、各自治振興区から提出され、すべて採択したい誘惑に駆られました。今後、事業実施する自治振興区は全市民から負託された重みを感じ、よき成果をあげられることを期待しています。

